



竹林の風

令和3年度のスタート

コロナ禍の中、1年が過ぎました。各学校におかれましては、上三川町教育委員会並びに宇都宮市教育委員会の御指導の下、適切に学校教育活動を進めてこられましたことに、改めて感謝申し上げます。

令和3年度がスタートして2か月、薫風緑樹をわたる好季節となりました。全国の新型コロナの感染状況を踏まえ、以前にも増して感染防止に努めなくてはならないと実感しますが、コロナ禍での学校教育活動は2年目となりますので、「昨年度の対応を生かして、上手につきあひながら、業務を進めていく。」そんな年にしていきたいと考えているところです。

今年度も引き続き、上三川町教育委員会並びに宇都宮市教育委員会、関係諸団体と連携を図りながら、管内教育行政を進めて参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、新年度号の発行にあたり、教育事務所オールスタッフを紹介させていただきます。

令和3年度 河内教育事務所 【◎は転入者、○は昇任昇格、()は前所属】《令和3年4月1日現在》

所長	宮澤 文洋	副主幹	鈴木 智也
【総務課】	市村 彰 ◎	副主幹	田中 真也 ○
所長補佐(総括)兼課長	(林業センター)		
副主幹	大島 洋子	管理主事	池澤 孝幸
副主幹	神山 敦子 ◎	(いじめ・不登校等対策チーム)	
	(経済流通課)	指導主事〔チームリーダー〕	野口 幹
主任	宇津木 貴志 ○	指導主事	中澤 由香
主事〔代〕	高橋 沙織	スクールサポーター	伊澤 栄一
事務補助員	須永 香織	スクールサポーター	柴山 洋 ◎
			(上三川町立北小学校)
入力事務員	小谷 明美	【ふれあい学習課】	
		所長補佐兼課長	高田 玄
入力事務員	菊地 裕美 ◎	副主幹	石塚 秀幸
【学校支援課】			
所長補佐兼課長	須藤 崇弘 ○	副主幹	田中 久之 ○
副主幹兼管理主事	野口 修一 ◎	※スクールソーシャルワーカー	和久 知恵子
	(上三川町教育委員会)	(上三川町、高根沢町を担当)	

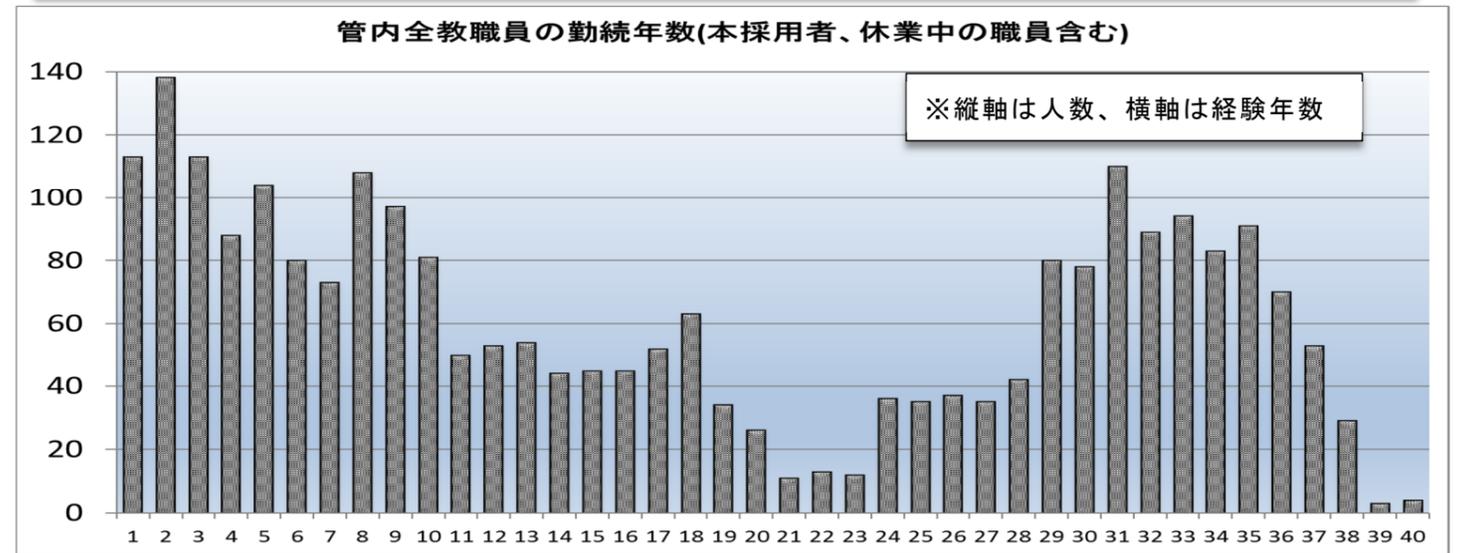
※令和3年度から、スクールソーシャルワーカーの全中学校区配置に伴い、和久は学校所属となりますが、派遣の調整等は、教育事務所でも行いますので、名前を掲載しております。



河内教育事務所は総務課、ふれあい学習課、学校支援課の3課になります。当たり前な精度を保つことが求められる業務、時機を捉えて柔軟な発想が求められる業務、先読みを求められる業務等を担っておりますが、連携・協力・補完できる職場を目指します。異動は「偶然の出会い」の印象があるかもしれませんが、人事の基本は、適材を適所に配置することです。年度の最後には、「出会うべくして出会った」と実感できるチームにしていきたいと考えています。

【←撮影時のみ、マスクを外しました。】

管内教職員の経験年数グラフから……



管内教職員の勤務(経験)年数を表したグラフの令和3年度版です。昨年度(第37号)と状況は大きく変わらず、経験年数の少ない教職員が多く、構成は二極化しています。そこで、若手教職員を支援し、教育の質の維持と持続可能な学校組織の構築のために「学校ミドルリーダー」の活躍が求められます。

では、学校ミドルリーダーはどのあたりの経験年数なのでしょう。県教委の研修内容から見ると、各専門分野の研修とともに、学校組織マネジメントに関する講座が多く組まれている「中堅教諭等資質向上研修」があります。このことから、勤務経験10年目以降の教職員には、学校ミドルリーダーとしての活躍が期待されます。また、教職員の技術はある意味「職人技」。経験が豊かなベテラン教職員の方々には、OJTをとおしてミドルリーダーの育成にお力添えをいただきたいと思います。先を見据えて、早めに対応していきたいものです。

大会開催に感謝、選手の姿に感動

宇河地区中学校春季体育大会の競技会場にお邪魔させていただきました。各会場では丁寧に御対応いただき恐縮するとともに、感謝申し上げます。さて、各競技では、生徒たち一人一人のひたむきな姿勢、そして真剣勝負を目の当たりにして、ただただ感動しました。勝負事ですから、勿論、勝ち負けが伴うわけですが、勝っても負けても、それぞれが心身ともに成長する大切な場であるということを改めて実感しました。人目を憚らず悔し涙を流す姿には、私自身、もらい泣きを我慢するのが精一杯な状況でした。今後の夏の大会に向けて更なる成長を期待した次第です。

また、1年ぶりの開催ということで、危機管理マニュアルの再構築を含め、安全対策を講じながら運営に尽力された関係者の皆様には、心から敬意を表します。大会が開催できたことに改めて感謝申し上げます。最後に、各学校にて部活動指導にも力を注いでくださった教職員の皆様、ありがとうございました。日頃の御指導の様子が、生徒たちの真摯な姿勢から十分に伝わりました。

水は方円の器に随う

タイトルは、尊敬する先輩との「職場の風土づくり」という話題の中で、御指導いただいた言葉です。調べたところ「韓非子、外儲説左上」に収められている「孔子曰、爲人君者猶盂也。民猶水也。盂方水方、盂圓水圓。」から転じたことわざで「人は交友や環境によって、良くも悪くもなる。」という意味のようです。

ここからどんな話題に……、ということですが、4月26日から5月5日までの管内服務規律強化旬間への御協力から感じたことがあります。それは、各学校において「風通しの良い職場」という形の器が着実にできてきているということです(第45号関連の内容です)。引き続き、教育への信頼を確たるものにするべく、教職員の皆様による器づくりをお願いいたします。

教職員一人一人の誇りと品格は 教育への信頼を確たるものにする